

1. 2025年度エコドライブシンポジウム開催概要

2025年11月27日新宿区全ト協ホール全日本トラック総合会館3階にて、エコドライブ普及推進協議会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団共催で、『2025年度エコドライブシンポジウム～地球と走ろう環境にやさしいエコドライブで～』を開催しました。

取組事例として花王ロジスティクス株式会社 石狩LC・沖縄トヨタ自動車株式会社・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・eMotion Fleet株式会社から、それぞれの取組の概要、現状や成果、今後の課題などについてご紹介をいただきました。

(1) 開催概要

- 日 時：2025年11月27日(木) 13:30～16:30
- 場 所：新宿区全ト協ホール全日本トラック総合会館3階
- 主 催：エコドライブ普及推進協議会
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
- 参加者数：約90名

(2) プログラム

- 1) 開会挨拶
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 会長 田端 浩
国土交通省 総合政策局 次長 三宅 正寿 氏
環境省 水・大気環境局 モビリティ環境対策課 課長 平澤 崇裕 氏
- 2) 2025年度エコドライブ活動コンクール 表彰式
国土交通大臣賞：1件
環境大臣賞：1件
審査委員長特別賞：2件
優秀賞：6件
- 3) エコドライブの取組紹介
 - ① 2025年度エコドライブ活動コンクール事業部門
国土交通大臣賞受賞事業者の発表
『2025年度エコドライブ活動コンクール 活動報告』
花王ロジスティクス株式会社 石狩LC 配送グループ 東 健二 氏
 - ② 2025年度エコドライブ活動コンクール一般部門
環境大臣賞受賞事業者の発表
『Eco Drive for Future～持続可能な未来のために～』
沖縄トヨタ自動車株式会社 グループ総合企画部 課長 仲地るみこ 氏
 - ③ 2025年度エコドライブ活動コンクール支援ビジネス・ユニーク部門
審査委員長特別賞受賞事業者の発表
『テレマティクス自動車保険・サービス提供によるエコドライブ支援取組』
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 京都支店 地域戦略室長 園崎秀樹 氏
 - ④ 2025年度エコドライブ活動コンクール支援ビジネス・ユニーク部門
審査委員長特別賞受賞事業者の発表
『商用EV導入・運用ワンストップサービス』
eMotion Fleet株式会社 代表取締役社長 白木 秀司 氏

＜会場写真＞



会場



開会挨拶(エコモ財団)



開会挨拶(国土交通省)



開会挨拶(環境省)



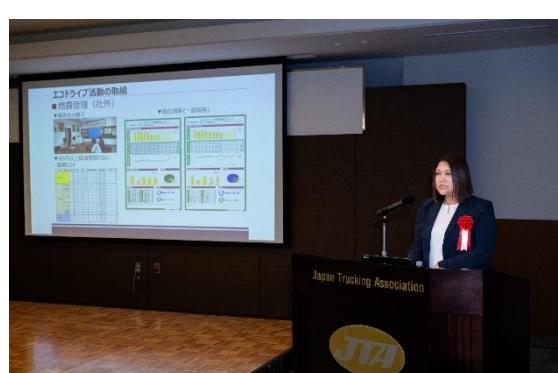
国土交通大臣賞授与



集合写真



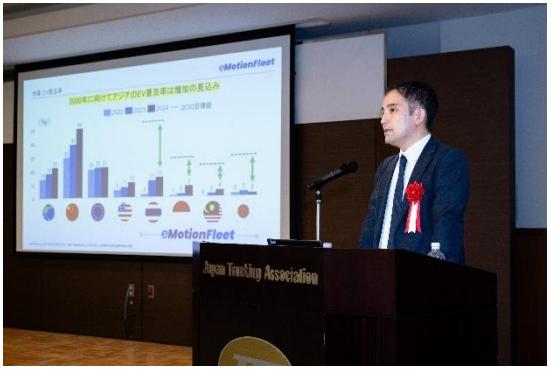
国土交通大臣賞受賞事業者の発表(花王ロジスティクス株式会社 石狩 LC)



環境大臣賞受賞事業者の発表(沖縄トヨタ自動車株式会社)



審査委員長特別賞受賞事業者の発表(あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)



審査委員長特別賞受賞事業者の発表(eMotion Fleet 株式会社)

2. 2025年度エコドライブ活動コンクール表彰式

- 国土交通大臣賞
事業部門 花王ロジスティクス株式会社 石狩 LC
- 環境大臣賞
一般部門 沖縄トヨタ自動車株式会社
- 審査委員長特別賞
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
eMotion Fleet 株式会社
- 優秀賞(6件)
 - 事業部門
北海道フーズ輸送株式会社 旭川支店
SB フレームワークス株式会社
株式会社タカキ物流サービス 秦野営業所
株式会社エネックス 大井川営業所
 - 一般部門
株式会社日産フィナンシャルサービス
久屋産業株式会社



国土交通大臣賞：花王ロジスティクス株式会社 石狩 LC



環境大臣賞：沖縄トヨタ自動車株式会社

審査委員長特別賞



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社



eMotion Fleet 株式会社

優秀賞



北海道フーズ輸送株式会社 旭川支店



SB フレームワークス株式会社



タカキ物流サービス 秦野営業所



エネックス 大井川営業所



日産フィナンシャルサービス



久屋産業株式会社

3. エコドライブの取組紹介

(1) 2025年度エコドライブ活動コンクール事業部門

国土交通大臣賞受賞事業者の発表

【花王ロジスティクス株式会社 石狩 LC】

『2025年度エコドライブ活動コンクール 活動報告』

花王ロジスティクス株式会社 石狩 LC 配送グループ 東 健二 氏

＜講演概要＞

- ・ 安全第一を企業活動の原点に掲げ、1979年に創業。2025年スローガン「失敗から学ぶ」のもと、働きがいと環境配慮を両立する物流を目指す。
 - ・ 花王グループの物流部門（北海道エリア担当）として、1999年に稼働開始、配送エリアは北海道全域、協力会社様と連携し、24時間配送体制。
 - ・ 2014年から燃費向上活動を開始し、2019年から継続して優良評価を受け、モチベーション向上に繋がっている。
 - ・ ふんわりアクセルの「時速20kmに達するまで5秒かける」を徹底。
 - ・ アイドリングストップとして、出勤点呼時に「スパイラルチェーン」を渡し、車両キーと身体を繋ぐことで、降車時のエンジン切り忘れを物理的に防止。
 - ・ ドラレコを活用し、急加速・急減速・アイドリング時間を数値化し、ドライバーへフィードバックを実施し、意識啓発を行う。
 - ・ 日めくりカレンダーを活用し、安全・品質・エコに関するルールを記載した独自カレンダーを作成し、朝礼で唱和し、意識啓発を行う。
 - ・ 自社燃費が、2018年比で燃費が約15%向上（6.07km/L → 6.97km/L）。
 - ・ 異業種との共同配送を行い、車両台数の削減、積載率向上、ドライバー不足への対応、CO2削減を実現。
 - ・ 自社だけでなく協力会社（運送会社）とも月次会議で情報を共有し、サプライチェーン全体でのレベルアップを図る。

〈講演資料抜粋〉

(2) 2025年度エコドライブ活動コンクール一般部門 環境大臣賞受賞事業者の発表

【沖縄トヨタ自動車株式会社】

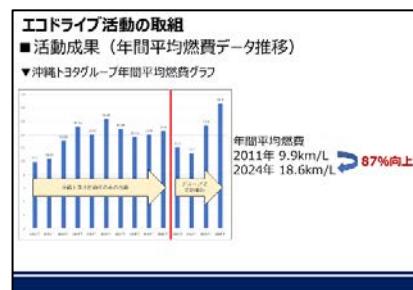
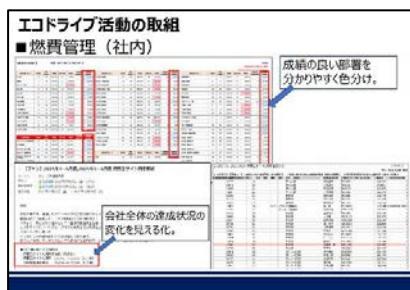
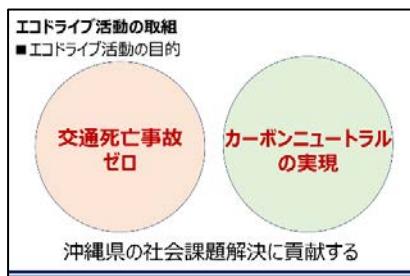
『Eco Drive for Future ~持続可能な未来のために~』

沖縄トヨタ自動車株式会社 グループ総合企画部 課長 仲地るみこ 氏

＜講演概要＞

- ・ 主な事業は、トヨタ車の販売、点検・整備、物流システム、保険代理店業などになる（沖縄県内 23 店舗）。
- ・ 沖縄県は鉄道インフラが限定期的で、極度のクルマ社会（一人一台）。那覇市周辺の交通渋滞は全国ワーストクラスであり、CO₂ 排出や事故リスクが課題となっている。
- ・ エコドライブ活動を通じ、沖縄県の社会課題解決の貢献を目的としている。
- ・ 自社オリジナルの燃費管理サイト「燃費王サイト」を活用し、給油時に総走行距離と給油量を入力し、実燃費を見える化。目標燃費との差を可視化し、楽しくながら継続的に取り組む仕組みを構築。
- ・ 新入社員研修でエコドライブの座学・実車体験を実施。燃費の違いを体感させ、入社直後から意識付けを行う。
- ・ 2012 年より一般参加型のエコドライブコンテスト「燃費王決定戦」を開催。2024 年は 953 チームが参加する規模へ成長。
- ・ 2011 年 (9.9km/L) から 2024 年 (18.6km/L) へと、年間平均燃費が約 87% 向上 (HV 車への代替効果含む)。
- ・ 関連企業との取り組みで、前年比約 59 トンの CO₂ 削減を達成。
- ・ 環境意識の高い企業や自治体へプラットフォームを提供し、沖縄から全国へエコドライブの輪を広げる。
- ・ エコドライブを通じ環境にも人にも優しい社会を目指す。

＜講演資料抜粋＞



(3) 2025年度エコドライブ活動コンクール支援ビジネス・ユニーク部門 審査委員長特別賞受賞事業者の発表

【あいおいニッセイ同和損害保険株式会社】

『テレマティクス自動車保険・サービス提供によるエコドライブ支援取組』

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 京都支店 地域戦略室長 園崎 秀樹 氏

<講演概要>

- 「CSV×DX」(Creating Shared Value × Digital Transformation)。デジタルデータを活用して社会課題（事故削減、脱炭素）を解決するため、『テレマティクス自動車保険・サービス』を通じたエコドライブ支援を行う。
- 一般の自動車保険契約者に比べ、事故発生率が約 16%低減。安全運転と燃費向上（エコドライブ）には明確な相関関係があることを実証。
- 法人向けの Biz セーフティのサービスとして安全運転等による CO2 排出削減量の可視化サービスを提供し、脱炭素に向けた意識改革、安全運転の促進・管理、SDGs 取組の PR につなげることができた。
- 全国 500 以上の自治体と連携協定を締結。
- 全国で「エコドライブコンテスト」を開催し、車載器を無償貸与して地域の安全運転・エコドライブ意識を醸成。
- 2022 年度「冬の Digi 田甲子園」で優勝（内閣総理大臣賞受賞）。安全運転による CO2 削減分を地域やドライバーへ還元する仕組みを研究中。
- 2023 年 10 月～2024 年 12 月の期間で、契約者全体で約 7 万トンの CO2 削減に貢献。
- 安全運転による事故削減により、保険料抑制や車両修理費の削減にも寄与。
- 2022 年より東京大学との共同研究により、さらに精緻な CO2 排出・削減量の算出アルゴリズムを開発を行っている。
- テレマティクス自動車保険事業を起点に新たな価値を創出していく。

<講演資料抜粋>



**(4) 2025 年度エコドライブ活動コンクール支援ビジネス・ユニーク部門
審査委員長特別賞受賞事業者の発表**

【eMotion Fleet 株式会社】

『商用 EV 導入・運用ワンストップサービス』

Fleet 株式会社 代表取締役社長 白木 秀司 氏

＜講演概要＞

- 事業内容は、事業者向け商用 EV（電気自動車）の導入・運用をワンストップで支援するサービス。
- 物流・バス・タクシー事業者等の「現場の課題解決」と「脱炭素化×経済性」の両立を目指す。
- 物流業界（2024 年問題）や脱炭素化の圧力がある一方、現場では「EV 導入の進め方が不明」「充電器の選定が困難」「経済性が不安」という課題がある。
- モノ・ヒトを運ぶ事業者の商用 EV 導入・運用をワンストップで支援
- 既存車両の走行データを分析し、EV 化可能な車両や最適な充電インフラ配置をシミュレーション。
- 特定のメーカーに依存せず、最適な車両・充電器を提案。
- 車両管理（FMS）とエネルギー管理（EMS）を統合したクラウドシステムを提供。
- 創業から短期間で日本・アジアを中心に約 400 社と商談・導入プロジェクトを進行。
- 車両、充電器、工事、システム、メンテナンスをセットにした月額定額サービスを提供（パッケージ化による導入ハードルの低減を目指す）。
- 四国電力・伊予鉄バスにおいて、EV バス運行とエネルギー管理を統合したシステムを日本初導入。4 拠点 21 台に導入済み、電気の基本料金を 3-4 割削減
- 商用 EV の稼働率を最大化し、バッテリー寿命を延ばすことで、ディーゼル車よりも安く、安心に使える環境を整備する
- EV 車を導入することで、トータルコストを下げて、経済性を 1 割～2 割改善することを目指す。

＜講演資料抜粋＞

